

# 令和4年度 事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)



社会福祉法人  
**若草会**

## 1. 法人概要

法人名	社会福祉法人若草会
法人設立年月日	平成27年12月25日
代表者名	理事長 古賀 良子
法人所在地	福岡県久留米市天神町134番地1
電話番号	0942-38-2606

## 2. 法人理念

「一人ひとりの豊かな生涯を共に寄り添い、支え合う介護の実現」

## 3. 沿革

平成27年12月	社会福祉法人若草会 設立
平成28年1月	理事長 古賀由紀子 就任
平成29年4月	地域密着型特別養護老人ホームわかくさ 開設
令和1年10月	特別養護老人ホームわかくさショートステイ(空床型) 開設
令和2年4月	社会福祉法人弥生の里福祉会 合併 第1種社会福祉事業 地域密着型特別養護老人ホーム弥生の里 追加 第2種社会福祉事業 弥生の里サービスセンター 追加 短期入所生活介護弥生の里 追加 公益事業 (1)生きがい活動支援通所事業の受託経営 追加 (2)特定高齢者通所型介護予防事業の受託経営 追加
令和2年7月	理事長 古賀良子 就任
令和4年8月	弥生の里サービスセンター 閉鎖

## 4. 事業内容

- 第一種社会福祉事業  
特別養護老人ホームの経営
- 第二種社会福祉事業  
老人短期入所事業の経営
- 収益を目的とする事業  
不動産貸与事業の経営
- 公益事業  
生きがい活動支援通所事業の受託経営

5. 令和4年度の事業方針と重点的取り組み課題

- (1) 法人理念の理解による、寄り添う介護の実践
- (2) 感染症や災害への対応力強化
- (3) 地域包括ケアシステムの推進
- (4) 自立支援・重度化防止の取組
- (5) 介護人材の確保、介護現場の革新

6. 理事会及び評議員会開催状況

日時	議会名	(理事) (評議員) (監事)	議題
4月6日～ 4月13日 (書面決議)	第1回 評議員会	— 9/9 —	① 「監事の選任」について
6月8日	第1回 理事会	7/7 — 2/2	① 令和3年度事業報告について ② 令和3年度決算報告について ③ 「業務執行理事の廃止」について ④ 「定款変更」について ⑤ 「第二種社会福祉事業の廃止」について ⑥ 「基本財産の処分」について ⑦ 「定款の変更について(第二種社会福祉事業・基本財産の処分)」について ⑧ 「就業規則の変更」について ⑨ 「報酬規程の変更」について ⑩ 「評議委員会の招集」について
6月21日	第2回 定時評議員会	3/7 7/9 —	① 令和3年度決算報告について ② 「業務執行理事の廃止に伴う定款の変更」について ③ 「報酬規程の変更」について ④ 「第二種社会福祉事業の廃止に伴う定款の変更について ⑤ 「基本財産の処分」について ⑥ 「基本財産の処分に伴う定款の変更」について
12月20日～ 12月27日 (書面決議)	第2回 理事会	7/7 — 2/2	① 「就業規則の改正」について

## 7. 役員名簿

理事長	古賀 良子
理事	末次 輝
理事	大石 昌彦
理事	平松 義博
理事	林 利彦
理事	池末 直子
理事	田中 圭子
監事	田崎 創
監事	吉田 樹夫

## 8. 評議員名簿

評議員	稲吉 義弘
評議員	大石 純夫
評議員	木下 雅之
評議員	熊谷 智彦
評議員	眞田 明子
評議員	中村 茂人
評議員	古川 哲也
評議員	肥山 淳一郎
評議員	吉田 帰命

## 9. 令和4年度事業報告

---

### 地域密着型特別養護老人ホームわかくさ

---

#### > 運営目標 <

##### 令和4年度運営目標①

感染・災害発生時にも必要なサービスが提供されるための業務継続計画を作成し、いかなる状況からも早期復旧し入居者の生命保護に努める。

⇒7月に新型コロナウイルス感染症の拡大によりクラスターが発生した。必要物品会議を重ねて必要な対応を行ったことで、何とか業務の継続ができた。今年度中にBCP（業務継続計画）は作成したが、今後の感染や自然災害に備えて、更に計画内容を見直しながら、万全の体制を整えていく必要がある。

#### 令和4年度運営目標②

個々の職員の資質向上と、専門性を生かし組織内での人材育成が計画的に実施できるよう、職員教育の体制を確立させる。

⇒新しい教育体制を作り進めてきたが、コロナ感染拡大により、研修や学習の機会が十分に設けられず、またユニットリーダーの異動や退職等により、組織編成が確立できない事もあり、人材育成が思うように進まなかった。

#### 令和4年度運営目標③

医療・介護の関係機関や地域の支援者に積極的にアプローチを行い、待機者確保と入居率100%維持に努める。

⇒待機者確保のために、グループ法人内の事業所や各居宅介護支援事業者等に、積極的にFAXを送ったり、出向き情報提供等も行い、随時待機者確保を行ってきた。しかし、度重なる入院や死亡退所後の入居案内に介護度の低い方の案内も多くなり、売上維持が困難だった。

#### 令和4年度運営目標④

入居者やその家族と、最後まで良好な関係を保てるよう、家族と情報の共有を密に行っていく。またより良いケアのために、職員間でもお互いを尊重し、適切に意見交換が行えるような環境設定を行っていく。

⇒コロナ禍で面会の制限が続き、入居者と家族との関りが難しい中、入居者の情報を家族に伝えたり、家族の思いをくみ取るよう、電話や書面、SNSの活用等工夫を行った。また職員間においては、面談で意見の聴取は行ったが、コロナ感染対策で、職員交流を制限したことで、コミュニケーションが取れにくくなり、適切な意見交換ができていたとは言えない。

#### 令和4年度運営目標⑤

地域包括ケアシステムの一員として、また「社会福祉法人」として求められる地域貢献に向けて、コロナ禍で不安を感じながら地域に住む高齢者への支援事業を行う。

⇒コロナ感染拡大によりクラスターが発生したこともあり、地域交流の殆ど全てを遮断したこともあり、地域貢献等は、まったく実施できなかった。

#### > サービス目標 <

##### 令和4年度サービス目標①

生活の中の課題を明確にし、解決に向けてのカンファレンス（サービス担当者会議）を実施し、入居者のQOLの維持・向上を念頭に置き、人生の終焉まで入居者と家族に寄り添える支援を行っていく。

⇒コロナ感染拡大により全職種が集まり、会議をする機会は作れなかったため、やむを得ず殆どの会議を書面配信等の「照会」という形で実施した。内容については周知できたためサービス目標は実施されている。しかし、この目標については次年度も継続して実施されるべきものである。今後はできるだけ、多職種の意見や支援がもっと家族に伝わり、ご理解いただけるよう、会議の機会を作っていく。

## 令和4年度サービス目標②

入居者へ適切なケアを実践し、安心して過ごして頂けるよう、各委員会活動や職員研修等の年間計画を立て、介護スキルの向上に努めていく。

⇒各委員会活動や、研修が十分行われず、介護スキルの向上に至っていない。

## 令和4年度サービス目標③

運営推進会議や、地域交流の機会を通して、「特養わかくさ」が入所施設というだけでなく、地域で暮らす高齢者やその家族が気軽に相談できる、身近な場所になれるよう、取り組んでいく。

⇒コロナ感染拡大のため、地域との交流を殆ど遮断したため、運営推進会議を 回実施のみであった。運営内容については、関係者にしっかり理解頂いたが、それ以上の地域貢献にまで至らなかった。

---

## 弥生の里

---

### ■事業報告概要■

#### 〈弥生の里デイサービスセンター〉

デイサービスセンターは、平成7年「弥生の里デイサービスセンター」として開設し令和2年に社会福祉法人若草会弥生の里デイサービスセンターに移行した。しかし、近年コロナ禍の影響により運営体制強化が達成できず令和4年8月末日で閉鎖することになった。

#### 〈地域密着型特別養護老人ホーム 弥生の里〉

今年度は、新型コロナ感染に伴い6月から体調を崩す入居者、スタッフが増加した。令和4年7月入居者1名・スタッフ2名、8月入居者3名・スタッフ3名が陽性になった。保健所から近隣の病院に入院依頼してくれたが受け入れる施設がなく、ショートユニットをコロナ感染者のユニットに変更し対応した。クラスター発生にならなかったことは、隔離できる居室があった事、スタッフの感染対策強化、若草会の協力体制によるものだと考える。

稼働率については令和4年5月、6月、令和5年3月が89.0%まで落ち込んだ。要因として入院、死亡退所によるものである。部屋が空いた時点ですぐに入所できる待機者を増やすことが喫緊の課題である。

#### 〈ショートステイ〉

今年度は、ショートユニットをコロナユニットに変更したことで、受け入れ出来ない状況が数か月続いた。しかし、月平均90万円の売り上げを超えており昨年度と比較すると飛躍的に上がった。これは相談員、ケアマネジャーが連携し送迎を効率的に行ったこと、ショートでもOTが介入し残存機能強化に取り組んだこと、担当スタッフが接遇を意識した関わりをもったことがリピーターを増やし紹介率のUPに繋がったと考える。次年度は更に利用者を増やす為、スタッフの人員確保に取り組み「選ばれるショートステイ」に発展していきたい。

## 1. 実施状況

### 【特別養護老人ホーム、ショートステイ】

#### 〈運営目標〉

① 社会福祉法人若草会理念の浸透

朝礼で理念を唱和し若草会が大切にする考え方や価値観を浸透させることができた。達成率100%

② 利用者の生活の質の向上

看護師を各ユニットに介護士と共に配置した。多角的な視点を現場で意見交換することで、観察力を強化することができた。しかしスタッフへの周知徹底、継続性に欠ける部分があり達成率70%。来年度も継続強化したい。

③ 感染防止の継続的な実施

看護師をユニットに配属し感染対策指導、教育を行った。知識として得ることが出来たが、実践として欠ける部分があり達成率70%の為来年度も継続目標とする。

④ 入居率の維持

令和4年度特養は入居率平均95.7% ショートステイ平均24.4%だった。特養においては待機者を増やす対策として、来年度①小郡市、鳥栖市、甘木市、各病院の連携室、居宅に空床が出た時点でFAXする。②8月と12月に営業5件を目標に掲げ取り組み入居率100%、ショートステイ40%目標にする。

⑤ 介護・看護における質の向上

現場における勉強会を実施することで、質の向上に取り組むことができたが、継続性に欠ける部分があり達成率70%、次年度は質の均等化を目指し継続強化する。

⑥ 双方向性のコミュニケーションの実践

コロナの流行が始まって3年が経過した。その影響で、面会を制限し介護スタッフと家族のコミュニケーションがほとんどなかった。次年度は「安定期」に入るといわれており、家族と現場で働くスタッフとのコミュニケーションがとれるような環境を整えたい。

⑦ 地域との連携

コロナで入居者と地域の交流を図ることは出来なかった。来年度も継続目標にし、住み慣れた地域で笑顔あふれる環境を整えたい。

#### 〈サービス目標〉

①利用者本位のサービス体系を確立し、利用者の満足度を上げる。

利用者の特徴をつかみ情報を共有するため、名前入りシートをユニットに張り付けた。認知症の満足度の指標は笑顔なので一人ひとりが笑顔で過ごされるように工夫した。達成度50%。次年度はレクリエーション活動を強化したい。

②家族等面会の機会がもてる。

コロナ禍だったがタブレットを活用やガラス越しにマイクを使用し対話できるように工夫した。コロナの影響で面会制限を止む無く行い達成率80%

③介護ソフト「ほのぼの」を活用し介護・看護業務の効率化を図る。

「ほのぼの」の活用については、従来の指導の流れで行っていたが職員異動で、別な情報共有ツールがあることを知った。達成率50%。次年度は有効に活用したい。

④無駄な業務をなくして効率化を図る。

- (1) シルバーセンター（シーツ交換）の中止
- (2) 食事介助エプロンリースの中止
- (3) 下用タオル廃止し紙タオルに変更
- (4) ペーパーレス（申し送り用紙、勤務届け出用紙、その他）を行い必要な内容は「ほのぼの」「コメディックス」を使用
- (5) 不要なおむつ交換（午前中）は行わない。
- (6) 施設内の5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）を行った。

⑤明るく楽しい施設作りに努める。

達成率50%。有熱者が1人でも発生した場合は、コロナを疑い居室隔離をした。その為かクラスター発生はなかったが、表情が乏しくなった入居者もいた。次年度はコロナ「安定期」に入ると言われているので、入居者・職員が集まりレクリエーションの充実を図りたい。

#### 〈年間行事〉

月	内容	月	内容
4月	さくら見学	10月	コスモス見学
5月	鯉のぼり・貼り絵・母の日	11月	コロナ中止
6月	貼り絵・たこ焼きパーティー	12月	クリスマス会
7月	七夕短冊・すいか割り大会	1月	書初め・弥生の里神社参り
8月	コロナで中止	2月	豆まき
9月	敬老会・かき氷パーティー	3月	ひな祭り

#### 〈各種委員会〉

①職員研修・会議等

月	内容	月	内容
4月	職員会議・口腔勉強会（4/18）	10月	職員会議・排泄勉強会（10/3）褥瘡研修会（10/8）口腔勉強会（10/17）感染勉強会（10/21）経管栄養勉強会（10/21）
5月	全体ミーティング・口腔勉強会（5/16）消火避難訓練（5/19）身体拘束・虐待（5/27）	11月	コロナにより会議中止・身体拘束・虐待勉強会（11/16）・口腔勉強会（10/17）感染勉強会（10/21）
6月	職員会議・福祉用具勉強会（7/12）口腔勉強会（6/20）	12月	職員会議・排泄勉強会（12/8）口腔勉強会（12/19）医療安全勉強会（12/30）
7月	コロナにより職員会議中止・福祉	1月	全体ミーティング・口腔勉強会



	用具勉強会 (7/12) 医療安全勉強会 (7/15) 口腔勉強会 (配布資料)		(1/16) 倫理・権利擁護勉強会 (1/30)
8月	コロナにより職員会議中止 口腔勉強会 (配布資料)	2月	職員会議・接遇勉強会 (2/5)・口腔ケア勉強会 2/20・認知症勉強会
9月	全体ミーティング・口腔勉強会 (9/26) 消火・避難訓練 (9/27)	3月	全体ミーティング

〈施設管理〉

①職員配置 (令和5年3月末日現在)

施設長 1名          生活相談員 1名          ケアマネジャー 1名          OT 1名  
 管理栄養士 1名      事務員 1名                  看護師 4名 (パート含む)  
 介護福祉士 10名      介護士 4名